

防 災インフォメーション



熊本県統合型防災情報システム

県内各地の雨量、河川水位、土砂災害危険度情報、潮位・風向風速などの情報をリアルタイムで提供しています。気象情報、降雨予想などの防災情報も見ることができます。

「熊本県統合型防災情報システム」のホームページ
(パソコン用) <http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>
(携帯用) <http://www.mobile.bousai.pref.kumamoto.jp/>



熊本県土砂災害危険箇所マップ

急傾斜地崩壊危険箇所や土石流危険区域などの情報を地図で確認できます。県内の全地域を見ることができます。地図は最大5000分の1まで拡大が可能です。

「熊本県土砂災害危険箇所マップ」のホームページ
<http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/>

※両ホームページとも県のホームページの「防災情報」からアクセスできます。

土 砂災害には前触れが!

次のような前触れがあったら、土砂災害の危険性があ
早めに避難しましょう。

土石流の前触れ

- 山鳴りがする。
- 川の水が濁ったり、流木が混じったりする。
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。

がけ崩れの前触れ

- がけから濁った水が噴き出す。
- 小石がパラパラと落ちてくる。
- 斜面がひび割れたり、変形したりする。

地すべりの前触れ

- 地面にひび割れが起きる。
- 井戸や沢の水が濁る。
- がけや斜面から水が噴き出してくる。

お問い合わせ先

熊本県砂防課 ☎096-333-2553 FAX 096-38
電子メール sabou@pref.kumamoto.lg.jp

逃 げて良かった! 「とにかく、逃げる」その決断が命を救う

球磨村消防団長 小谷 富



昨年の7月、球磨郡球磨村地域を集中豪雨が襲いました。消防団長を務める小谷富士夫さんら、小谷(こたに)地区の5戸の住民全員が事前に避難し、九死に一生を得たのです。「集中豪雨の少し前、役場で土石流災害危険箇所の説明会があったんです。とにかく雨が続いたら逃げよう、と地区で話し合っ

たばかりでした」。その日、地区の谷川は土石流が道まなど「これはいつもと違う、危ない、と思いました」。夜中寝入っていた人を起こし、全員で近くの役場へ避難。一と寝室を土石流が直撃している家もあり、「とにかく避さを痛感しました。この経験が皆さんに役立てばと思

い ざという時は地域で守る「自主防災組織」 キーワードは住民相互のコミュ

「地域力」を高めていくのです。



避難訓練の様子

「自主防災クラブの運営がうまくいったのは、これまで地域住民のコミュニケーションが密に行われていたことが大きかった」と目久美会長は話します。また、上野次芳副会長も「今後は子どもたちの防災意識をもっと高めていきたいですね。地震を体感できる起震車を招いて地震を実感してみるなど、工夫をしていきたい」と抱負を話してくれます。

目久美光雄さんは振り返ります。

現在の活動は、毎月一回、各棟順番に初期消火の方法、非常ベルが鳴った時の対応などについて講習を行っているほか、年に数回会報を出して各棟の階段ごとに掲示して啓発を図り、朝夕の地域の見回りも行っています。平成十四年、十八年には全住民が参加して大規模な避難訓練も行いました。



熊本市営下南部団地自主防災クラブ
会長 目久美 光雄さん(右)
副会長 上野 次芳さん

「地域力」が身を守る
熊本市営下南部(しもなべ)団地自治会自主防災クラブ(現在)。熊本市にある自主防災組織を訪ねました。

熊本市営下南部団地に自主防災クラブが誕生したのは、平成十年。その三年前の平成七年、阪神・淡路大震災が起きました。「あの震災をきっかけに、いざという時対応できる自主防災組織というものをつくるべきではないか、と